※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道演習	単位数	2	年次	4
使用教科書							
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの授業で学んだことをふまえて、様々な表現をすることを楽しみ、書・その他の芸術にも興味を広げましょう。
・実用的な書についても考え、生活の中で生かせる用筆を学びましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・硬筆や筆ペンなど生活の中で多く使う道具の正しい使い方や書き順などを理解し、道具あった扱い方（書き方）を身につけるようにする。
・美しい文字を理解するし、美しく書く表現方法を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・テーマを中心に創作の苦労と喜びを体験するようにする。
・文字の成り立ちからその表現方法を工夫することを考え実践するようにする。
・古典を基本とするが、実用に結びつく工夫をしながら、作品を制作する態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・自分の納得する作品を粘り強く制作する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現や形式、多様的などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けることができる。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美の味わい捉えたりすることができる。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	書写から書道	○書写から書道へ ・書写と書道の類似点・相違点 ・書体の変遷 ・文字に興味を持つ	a: 道具の知識・扱い方を理解し、書道に対する姿勢や執筆法の基本を身に付ける。 b: 書写での基礎・基本を踏まえ、さまざまな書のよさを味わって課題の中で表現できる。 c: 書写と書道の違いを理解し、意欲的に取組んでいる。書写と書道の類似点・相違点について興味を持って取組もうとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品	観察
	創作	・創作 ・作品制作	a:作品の意図を明確にするための表現の技能を身につける。 b: 各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫することができる。 c:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取組もうとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品	観察
	篆刻	○篆刻 ・自分の名前調べ（篆書体） ・名前の印の制作 ・印刀を使っての作業	a:印作りにおいて、安全に作業し、的確に印刀を使うことができる。 b:篆刻における「分間布白」を理解し、表現を工夫している。様々な石の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを作品に表現することができる。 c:字典を使った名前の篆書体調べを通じて、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品	観察
後期	漢字の書（楷書）	○漢字の書（楷書） ・楷書の理解 ・古典臨書の活用	a:楷書の基本的な用筆方法をについて理解できる。 b: 古典の臨書を用いて、各書で利用する用筆方法を身に付け表現している。代表的な書体の古典を知り、そのよさや美しさを表現することができる。 c:正しい姿勢で、用筆法・スピード・リズムを考えながら取り組もうとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品	観察

※令和４年度以降入学生用

	篆刻（名印制作）	○漢字の書（行書） ・行書の理解 ・古典臨書の活用	a:行書の基本的な用筆方法をについて理解できる。 b: 古典の臨書を用いて、各書で利用する用筆方法を身に付け表現している。代表的な書体の古典を知り、そのよさや美しさを表現することができる。 c:正しい姿勢で、用筆法・スピード・リズムを考えながら取り組もうとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品	観察
	仮名の書	○楷書と行書 ・ボールペン、万年筆による実用的なもの	a:楷書・行書の表現の違い・基本的な用筆方法について理解できる。 b:ボールペン、万年筆を用いて、各書で利用する用筆方法を身につけ表現している。また、日常生活のあらゆる場面と構成を考えて書くことができる。 c: 正しい姿勢で、用筆法・スピード・リズムを考えながら取り組もうとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度